

う え だ 市議会だより

令和8年3月定例会
令和8年5月15日号

No.105

総務委員会

重点課題
公民連携の推進、公共施設再編
の取組視察（岡山県津山市）



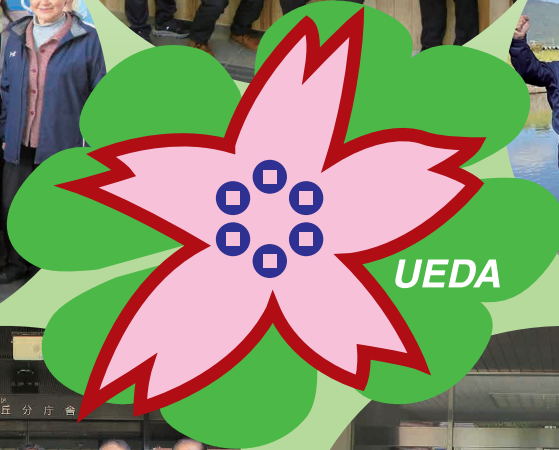
産業水道委員会

重点課題
上田長野地域水道事業広域化
(染屋浄水場)



広報広聴委員会

「伝える」から「伝わる」
議会活動（大阪府八尾市）



環境建設委員会

地域共生のいえづくり
支援事業の取組（東京都世田谷区）



教育厚生委員会

重点課題
子どもの多様な学び場の充実
(中間教室や校内フリースクール
管内視察にて)



行政視察



議会報告会

議会トピックス

CONTENTS

- 令和8年度当初予算を審査
- 議員23人が市政を問う
- 市へ提言書を提出
- 知ってるようで知らない!?
市議会のしくみ

目次

令和8年3月定例会概要	2-5
常任委員会審査概要	6-7
3月定例会一般質問	8-16
請願・陳情の審査	17
市へ提言書を提出 / 市議会のしくみ	18-19
令和8年度市議会開会予定 / 公職選挙法 / 編集後記	20



計・企業会計

会 期	2月6日から3月5日まで（28日間）
議 案	条例案19件、予算案15件、事件決議案12件、専決処分1件、人事案件1件、合計48件を全て可決、承認または適任と決定
一般質問	23人の議員が一般質問を実施▶▶▶ 質問要旨はP 8から掲載

補正予算

令和7年度一般会計補正予算 (第7号)など 全2件

可決

補正予算(第7号)の主な事業をピックアップ

デジタルチケット配付事業 11億4,505万円

食料品等の物価高騰に対する生活者支援および地域経済活動の活性化を図る事業として、商工団体と連携し、市内登録対象店舗で使用できるデジタルチケットを配付する。

- 対象者 上田市住民基本台帳に登録のある方（令和8年1月1日時点）
- 配付額 7,000円/人
- 利用期間 4月15日から8月31日まで



上田市 HP

非課税世帯等 エアコン設置費助成事業 7,400万円

物価高騰によりエアコン設置が困難となっている住民税非課税世帯および生活保護受給世帯に対して、県と協調し、エアコン設置に要する費用を助成する。

- 助成額
 - ・住民税非課税世帯 購入設置費の3分の2（限度額5万円）
 - ・生活保護受給世帯 購入設置費の全額（限度額7万3,000円）
- 申請期間 8月28日まで ※予定金額に達し次第終了



上田市 HP

特別会計・企業会計 当初予算

令和8年度特別会計5会計・企業会計 3会計の当初予算を審査

可決

特別会計名	予算額	企業会計名	予算額
国民健康保険事業特別会計	149億5,180万円	水道事業会計	56億9,662万円
後期高齢者医療事業特別会計	30億1,210万円	公共下水道事業会計	100億3,013万円
介護保険事業特別会計	167億5,212万円	農業集落排水事業会計	22億8,084万円
駐車場事業特別会計	1億5,295万円		
武石診療所事業特別会計	9,425万円		

特別会計とは…事業目的を限定し、特定の歳入を特定の歳出に充てて経理する会計
企業会計とは…水道事業や下水道事業といった独立採算により特定の事業を経理する会計

3月定例会 概要

令和8年度一般会計・特別会 当初予算を審査

※金額の表示単位未満は四捨五入しています。

一般会計 当初予算

令和8年度一般会計当初予算を 審査

可
決



令和8年度 一般会計 当初予算の概要

予算額 763億5,700万円 (前年度比0.7%増)

市長選・市議選を控え、新規事業は今後の補正予算で対応

<歳入の主な内訳>市税 229億円 地方交付税 160億円 国・県支出金 166億円

<歳出の主な内訳>民生費 291億円 総務費 91億円 土木費 73億円

一般会計当初予算の主な事業をピックアップ

常任委員会での審査
概要はP 6-7に掲載

庁舎整備事業

1,320万円

新参町線無電柱化事業に伴い、庁舎敷地内に残存する高圧幹線の地中化工事を実施する。

ゼロカーボン戦略事業

9億1,296万円

脱炭素先行地域計画による交付金対象事業のうち事業者（地域エネルギー会社等）が実施する事業に対する補助金の計上。

霊園管理運営事業

338万円

合葬式墓地運用開始に伴う経費の計上。

- ・納骨等業務委託料
- ・市霊園駐車場整備工事



上田市霊園内（諏訪形）合葬式墓地の外観

公共施設を利用した水泳授業 実施検証事業

436万円

猛暑日等の増加による水泳授業の中止や熱中症リスク、プールの老朽化等による経費の増加など水泳授業の課題解消を図るため、公共施設を利用した水泳授業を試行する。

美ヶ原高原整備事業

9,650万円

美ヶ原高原に残存する老朽化施設の解体工事および駐車場の舗装剥ぎ取りに係る経費の計上。

- ・施設解体工事費
- ・駐車場整備工事費



美ヶ原高原台上の様子

市有林整備事業

8,000万円

市有林の適切な管理のため、搬出間伐や主伐・再造林および作業道開設等を行うための経費の計上。

- ・うち森林環境譲与税基金活用分 2,824万円
- ・うち武石地区市有林整備事業練馬区負担金 360万円

学校給食負担軽減事業

4億8,384万円

保護者負担の軽減を通じた子育て支援策として、公立小学校を対象に新設される「給食費負担軽減交付金」を活用し、大幅な保護者負担の軽減を図るとともに、国が定める交付基準額を超える部分についても市独自で負担し、市内公立小学校の給食費無償化を実施する。

事件決議

上田市過疎地域持続的発展計画の変更など 全12件

可決

- ◆ 公有財産の無償譲渡
- ◆ 西内辺地総合整備計画の策定
- ◆ 平井辺地総合整備計画の策定
- ◆ 菅平東組辺地総合整備計画の策定
- ◆ 菅平西組辺地総合整備計画の策定
- ◆ 菅平向組辺地総合整備計画の策定
- ◆ 上本入西部辺地総合整備計画の策定
- ◆ 余里辺地総合整備計画の策定
- ◆ 上田市過疎地域持続的発展計画の変更
- ◆ 団体営仁古田新池地区緊急防災工事計画書の策定
- ◆ 団体営中池地区緊急防災工事計画書の策定
- ◆ 団体営日向池地区緊急防災工事計画書の策定

人事案件

人権擁護委員の推薦につき意見を 求めることについて (敬称略)

適任

みやした たつお
宮下 辰男 (片羽)

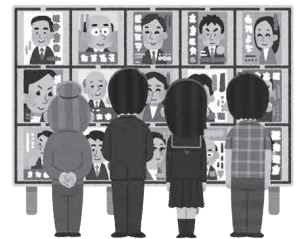
報告

専決処分した令和7年度上田市一般会計補正 予算第6号の承認

承認

- ◆ 補正額 : 8,075 万円

2月8日に執行された第51回衆議院議員総選挙および第27回最高裁判所裁判官国民審査に係る経費の計上。



三二知識

【専決処分とは】専決処分は以下の2つがあります。

1. 議会の議決を要する条例・予算などについて、議会を招集する時間的余裕がない緊急の場合などに市長が議会に代わり処理をすること。次の議会で報告し、議会の承認が必要。(大雨や台風による災害の復旧に係る補正予算など)
2. 議会が議決により指定した簡易な事項については、市長が議会に諮らず処理が可能。次の議会での報告が必要。

条 例

上田市組織条例中一部改正など 全19件

可 決

◆上田市議会政務活動費の交付に関する条例中一部改正

市議会会派の政務活動費の額について、近年の物価高騰等を踏まえ年額 36 万円に増額する改正を行うもの。

◆上田市霊園条例中一部改正

上田市霊園において合葬式墓地を設置し、令和 8 年度から供用を開始することに伴い、所要の改正を行うもの。

◆上田市福祉医療費給付金条例中一部改正

保険医療機関等での受診時における福祉医療費受給者資格の確認について、福祉医療費受給者証に代えてマイナンバーカード等での確認も可能とするため、所要の改正を行うもの。

◆上田市火入れに関する条例中一部改正

上田地域広域連合火災予防条例が改正され、新たに林野火災の予防（火の使用の制限）のための注意報等に関する規定が追加されたこと等に伴い、同注意報等が発令された場合の対応に関する規定を定めるもののほか、所要の改正を行うもの。

◆上田市組織条例中一部改正

行財政改革を強力に推進する体制を構築し、公民連携や公共施設マネジメントの取組を積極的に推進する行財政改革推進課を設置することに伴い、所要の改正を行うもの。

◆上田市議会委員会条例中一部改正

上田市議会の議員の定数を定める条例および上田市組織条例の一部改正に伴い、常任委員会の委員の定数および所管事項を下表のとおり変更するため、所要の改正を行うもの。

委員会名	改正前	改正後
総務委員会	8 人	7 人 (1 減)
産業水道委員会	7 人	7 人
教育厚生委員会	7 人	7 人
環境建設委員会	8 人	7 人 (1 減)
広報広聴委員会	9 人	8 人 (1 減)

委員会名	所管事項
総務委員会	秘書課、危機管理防災課、 行財政改革推進課 、政策企画部、総務部、財政部、消防部、会計課、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員及び固定資産評価審査委員会に関すること。他の委員会に属さないこと。

総務委員会

●2月6日・20日・24日に開催し、条例案6件、予算案4件、事件決議案8件、報告1件の審査を行いました。

上田市議会政務活動費の交付に関する条例中一部改正

問 政務活動費の額の変更について、上田市特別職報酬等審議会から出された意見はどうか。

答 平成12年以降、金額の変更がないことから増額については適切であるとの意見が大半であった一方で、広報広聴の部分をより一層積極的に行っていたらどうかの意見も出された。

令和8年度一般会計予算

問 歳入において、昨年度と比較

し、法人市民税が減額見込みとなっているが理由は何か。

答 景気は回復基調であるが、アメリカの関税政策の影響や原材料費の高騰等により、企業業績には依然として厳しさが見られ、令和7年度分の法人市民税の調定額も前年度比95・3%となっていることを考慮して推計したものである。

問

消防団員退職報償金について、退団者を何名と見込んで算定したか。また退団者の状況はどうか。

答 過去3年間の平均の退団者数を根拠に76名を基準として算定した。また、近年は入団者数に比べ退団者数が多くなっており、団員確保が重要な課題となっている。

産業水道委員会

●2月6日・25日・26日に開催し、条例案2件、予算案9件、事件決議案3件の審査を行いました。

上田市火入れに関する条例中一部改正

問 条例の一部改正にとどまらず、屋外焼却を行う際の対応を市民に徹底することが重要だが考えはどうか。

答 屋外焼却を行う際には事前に消防署に届出をする必要があるが、林野火災につながっているものの多くは届出がされていない状況にあるため、さまざまな媒体により制度の周知徹底を図っていききたい。

令和8年度一般会計予算

問 武石地区市有林整備事業について、練馬区との連携の考えはどうか。

答 練馬区と連携協定を締結することにより、練馬区の森林環境譲与税を武石地域の市有林整備の費用に活用させていただくほか、練馬区立武石少年自然の家ベルデ武石への間伐材を活用したベンチ等の設置や、市有林において練馬区の小学生に森と触れ合っていたり機会を創出などにより、連携を図っていききたい。



たき火について

「常任委員会」では、条例や予算、事件決議などの審査を行いました。

本会議での委員長報告ほか↓



●2月6日・20日・24日に開催し、条例案8件、予算案7件、請願2件、陳情1件の審査を行いました。

一般会計補正予算第7号

問 非課税世帯等エアコン設置費助

成事業として、7400万円の予算が計上されている。エアコンを使用するためには購入費用だけでなく、設置費用も発生することがあるが、どちらも補助対象となるのか。

また、家電小売店や家電量販店ではなく、インターネットや個人間売買等で購入した場合は対象となるのか。

答 設置費用についても対象としている。

また、インターネットや個人間

売買等で購入した場合でも、購入後に領収書等を提出いただくことで対象となる。

令和8年度一般会計予算

問 水泳授業指導等委託料として、

430万円余の予算が計上されているが、内訳はどうか。

また、来年度から新たに検証事業を行う学校はあるか。

答 インストラクター委託料とふれ

あいさなだ館へのバス送迎委託料を計上している。

また、今年度、実証実験を行った長小学校、真田中学校に加えて、来年度からは傍陽小学校でも全ての水泳授業をふれあいさなだ館を使用して行うことを計画している。

●2月6日・25日・26日に開催し、条例案2件、予算案4件、事件決議案1件の審査を行いました。

上田市霊園条例中一部改正

問 合葬式墓地の個別埋蔵場所に利用許可日から15年の期間制限

を設けているが、期間経過後、遺族等と連絡が取れない場合の対応はどうか。

答 利用許可日から15年経過後は、焼骨を共同埋蔵場所へ埋蔵するものとして申し込みをしていただくため、遺族等と連絡が取れない場合であっても、共同埋蔵場所へ埋蔵されることになる。

令和8年度一般会計予算

問 脱炭素先行地域事業補助金として9億1000万円余の予算

が計上されているが、事業の進捗状況および今後の課題はどうか。

答 金融機関との融資協議に時間を

要したことから、事業計画の進捗は遅れている状況であるが、今年度は※PPA事業において、18件の民間住宅への導入工事が完了している。今後は、新規契約者のさらなる拡大と会社の人員体制の強化、資材高騰による事業進捗への影響が課題であると考えている。

※PPA事業…主に太陽光発電を導入する際に、PPA事業者（発電事業者）が需要家（電力利用者）の敷地や屋根などに太陽光発電設備を設置・管理し、発電した電力を需要家へ販売する。

23人の議員が市政を問う

3月定例会一般質問要旨

答弁者名は以下のとおり省略して記載しています。

答弁者役職	略称	答弁者役職	略称
市長	市長	教育長	教育長
政策企画部長	政策企画	総務部長	総務
財政部長	財政	市民まちづくり推進部長	市民まち
福祉部長	福祉	健康子ども未来部長	健康子ども
産業振興部長	産業振興	文化スポーツ観光部長	文化スポーツ
都市建設部長	都市建設	真田地域自治センター長	真田センター
教育次長	教育次長	上下水道局長	上下水道

掲載記事は、質問議員本人が作成しており、質問全体の一部を要約したものです。
質問全体の内容については、会議録に掲載しています。会議録は、議会事務局、市内図書館、公民館及び上田市議会ホームページからご覧いただけます。
なお、一般質問は上田ケーブルビジョン及び丸子テレビ放送のご協力により、生放送と録画放送を行っています。

インターネットの生中継、録画配信専用サイトはこちら。



※二次元コードから各議員の質問の映像を見ることができます。



泉 弥生 日本共産党上田市議員



不登校の要因ともなり得る学力テスト

問 教育制度の過度に競争的な性格が、子どもに否定的な影響を及ぼしているとの国連勧告をどう受け止めているか。

答 (教育長) 子どもの権利委員会の最終所見でも触れているが、自己評価が低くなり、特性や多様性が見過ごされ、才能や興味の芽を摘む要因にもなる。

問 学力テストを実施しない他市もあったが、市

では導入を含め、教員の意見は聞いたか。

答 (教育長) 意見は聞いていないが、個人評価ではなく、授業がどうであるかの調査とするという課題が共通したため活用した。

問 通常のテストで学力状況を把握し、学力テストは学校単位で抽出して実施してはどうか。

答 (教育長) 校内テストを工夫する学校もあるが、授業で扱う場面と変えて問いを作る難しさや問いの質の検証は、学校独自で行うだけでは難しく、学力調査を活用するメリットがある。

【その他の質問項目】

- ・原子力災害対策



中村 知義 上志の風



産業の活性化

問 製造品出荷額が初の6,000億円を超えた成果を製造業の粗付加価値額の推移としてどのように評価しているか。

答 (産業振興) 新市発足後、最高額を更新するなど市内製造業の業績は堅調に推移している。企業全体の売上高から外部への支払いを差し引いた企業の真の稼ぐ力を示す粗付加価値額は約2,400億円を記録し、出荷額に占める割合が20～30%あれば良好とされる

中、約40%を占めており、好調な状態を維持している。

問 企業誘致において、さらに市長自ら先頭に立ちトップダウン型の誘致交渉を進め、スピード感ある対応が求められると考えるがどうか。

答 (市長) 誘致・留置は単なる経済政策ではなく、まちの活性化をかけた政策の柱であり、私自ら先頭に立ちながら、さまざまなネットワークを駆使して、前へ進めていく。

【その他の質問項目】

- ・民間運営駐車場の成果を踏まえた本庁舎駐車場の在り方



松山 賢太郎 社志会



市民の関心が高い政策確認

問 長野大学新棟の整備建設費と今後の市の支援方針はどうか。

答 (政策企画) 建設費については、総額約 50 億 5,700 万円を見込んでいる。今後の施設整備に対する補助等の支援方針については、公立化当初の経過から基本的に市の一般財源による補助は行わない方針である。

問 みなし上下分離方式によるバス事業者への年

間支援想定額はいくらか。また、各地域でのデマンド交通の今後の支援方針はどうか。

答 (都市建設) 年間の支援額は約 3 億円の支援規模と想定している。デマンド交通は地域の実情に応じた住民主体の移動支援事業による確保が理想的で、輸送の安全や利用者保護の措置が担保できる神川地域移動支援事業をモデルケースとして他地域にも広げたい。

【その他の質問項目】

- ・障がい者雇用促進
- ・ネーミングライツ拡充
- ・企業誘致



井澤 毅 新生会



市内における情報伝達手段の現状と今後の在り方

問 行政サービスとしての情報は等しく保障されるべきであり、市民生活に大きな影響を及ぼす情報伝達手段の地域差は公平性の観点からも大きな政策課題である。地域ごと個別の仕組みを維持していくのか、市として統一化・共通化を目指していくのか。有線放送終了後の情報伝達の空白について市の認識はどう

か。

答 (市民まち) 発信する側も受け取る側も負担がかからない仕組みを今後検討していく必要があると考えている。地域ごとの個別の仕組みの充実と市として統一化していく伝達の仕組みの併用が望ましいと考えている。有線放送終了に伴い、他の情報伝達手段やデジタル技術を活用した情報伝達の仕組みづくりなどの必要性を含めて総合的に判断する時期に来ていると考えている。

【その他の質問項目】

- ・上田市火入れに関する条例



池上 喜美子 公明党



子どもを中心とした共生社会の実現

問 全天候型の子どもの居場所設置の考えはどうか。

答 (健康こども) 資源循環型施設建設に係る周辺整備事業の一つに、季節や天候を問わず幅広い年齢の子どもや家族の居場所となる屋内子ども広場の設置を検討している。

問 人権の視点に立った包括的性教育の取組と人権教育プログラムを学校で活用する考えはどうか。

答 (教育長) 包括的性教育については、学習指導要領に基づき、年齢や発達に合わせ繰り返し

継続的に実施している。取組の一つが助産師を講師に行う“命の学級”で今後も推進していく。子どもの人権教育については、子どもが属するさまざまな集団において効果的な人権教育を推進する観点から、各学校の実情や考え方を尊重し、各学校の選択により*CAPプログラムをはじめとする最適な体験的活動を取り入れるなど工夫をして支援していく。

【その他の質問項目】

- ・上田市人生 100 年時代をより良く生きる健康づくり条例
- ・重層的支援体制整備事業
- ・女性の視点から考える働き方改革と防災対策

* CAP プログラム…Child Assault Prevention (子どもへの暴力禁止) の頭文字をとったもので、子どもたちが、いじめ・痴漢・誘拐・虐待・性暴力などから自分を守るためのプログラム。



松尾 卓 公明党



財政状況を踏まえた市政運営

問 政策的経費まで拡大した部局別枠予算編成で各部局が主体的に廃止・縮減した主な事業や削減総額はどうか。また、この取組をどのように評価するか。

答 (財政) 健康推進委員制度や上田城跡能の終了、事務経費の精査等により、一般財源ベースで約3億2,000万円削減した。各部局が改めて事業の必要性を検証する機会となると

ともに、基金繰入額の抑制など財政健全化に寄与したと評価している。

問 20年で公共施設を20%削減する目標は人口減少のスピードに対し緩慢な印象を持つ。計画の遅れにより膨らむ将来の管理費等の追加コストの試算と適正化案の提示時期はどうか。

答 (総務) 年1%の削減は小学校1校分に相当し、挑戦的な目標である。現状規模を維持すれば40年で4,397億円必要だが、統廃合と長寿命化により1,155億円の費用抑制が見込まれる。現在、個別施設計画の改定を進めており、スピード感を持って適正化に取り組んでいく。



半田 大介 公明党



発達障がい支援

問 発達外来は医療機関を受診するまで1年近くかかると聞けがなぜか。また、医師確保の取組はどうか。

答 (健康こども) 受診者数をすぐに増やせないのは、発達障がいの診察ができる医師や診察をサポートする心理士、小児専門作業療法士などの不足や診察前の検査に時間がかかり一人に要する診療時間が長くなるためである。

市と信州上田医療センター小児科医師、教育委員会で協議の場を持ち、待機時間の短縮に向けた方策を講じるとともに、診察までの子どもや保護者への支援に丁寧に対応する。

問 医療圏域をまたぐ発達障がいへの医療の取組を共通課題とすべきと考えるがどうか。

答 (健康こども) 医療圏域をまたぐ医療機関との連携も探りながら、発達障がいに係る医療環境が改善されるよう取組を続ける。

【その他の質問項目】

- ・米作り農業支援



矢島 昭徳 上志の風



地域の安全安心の要の消防団

問 消防団員の確保に向けた広報活動の取組はどうか。

答 (総務) ポスター展示や動画配信、ラッピングバス運行等の取組により、市民理解と団員確保に努めている。

問 本来の役割や訓練の必要性、環境整備について考えはどうか。

答 (総務) 消防団は地域防災の中核として、災

害時の初動対応や避難所運営の支援などを担う重要な組織である。迅速かつ安全な活動のため、専門機関と連携した訓練の実施や資機材操作、地域水利・危険箇所の把握など総合的な訓練環境の整備が重要である。

問 新たな企業表彰制度を創設する考えはあるか。

答 (総務) 火災や大規模災害時等に出動する団員を支える企業へのお礼状贈呈や企業表彰制度の創設についても今後検討していく。

【その他の質問項目】

- ・持続可能な財政運営と小中学校の学びの環境



齊藤 加代美 新生会



少子化対策～産むことにチャレンジできる環境～

問 市の不妊治療費補助上限額が 20 万円であるのに対し佐久市では 30 万円で年度ごと申請ができる。補助額と回数を見直す考えはあるか。

答 (健康子ども) 国・県の動向や市の補助利用実績等を踏まえ、引き続き検討する。

問 地域には出産する場所がないと誤った認識が妊娠を控える要因の一つと考える。恵まれたお産、産後ケア環境をどうアピールするか。



飯島 裕貴 新生会



公共施設ファシリティマネジメント

問 PPP (官民連携) について、次期公共施設等総合管理計画の中でどのように進めていくのか。

答 (総務) 施設の維持管理においては、指定管理者制度で培われた民間のノウハウを引き続き活用するとともに、施設のさらなる魅力向上に努めていく。また、施設整備においては、公設民営、民設民営、民間施設との複合化、

答 (健康子ども) 上田地域では、2つの医療機関、2つの助産所が分娩を扱い、無痛分娩や自然分娩などが選択できる。企業との連携の場での情報提供等、さまざまな場面を活用し、出産に関する情報発信に努めていく。

問 乳幼児健診について、今後の展開はどうか。

答 (健康子ども) 来年度から、市全域で 10 か月児集団健診を行う。この健診の中では作業療法士による発達に関する個別相談も設ける。

【その他の質問項目】

- ・若者が戻ってこられる上田
- ・上田市人生 100 年時代をより良く生きる健康づくり条例の検証

* PFI 事業など民間の知見を生かす多様な手法を検討する。

さらに、廃止した施設の利活用については、施設跡地を原則売却する一方で、立地や規模に応じ、地域活性化につながる活用方法も検討し、財源確保に努めていく。これらの取組を通じ、公共施設の管理運営の質を維持しつつ、維持管理費の縮減や市民サービスの向上につなげていきたい。

【その他の質問項目】

- ・地方交付税措置の動向と財政運営
- ・市内交通安全



宮下 省二 社志会



市政諸課題の対応

問 人口減少時代の諸課題に対応するため、全庁を網羅した組織の設置をどう考えるか。

答 (総務) 行財政改革推進課を新設し、部局横断的な行財政改革と公共施設マネジメントの取組を推進し、全庁的な取組につなげたい。

問 公共施設統廃合の基本的な考えはどうか。

答 (総務) 施設総量の縮減、適切な維持管理と長寿命化、統廃合の検討、コンパクトシティの推進、市民の理解と協力の 5 つの基本方

針により、20 年間で施設の総量を 20% 縮減することを目標としている。

問 上下水道施設を除く施設建て替えに係る概算総額はどうか。

答 (総務) 今後 40 年間で必要となる総額は、4,397 億円となり、単純平均で年間約 110 億円の費用が見込まれる。この額は近年の投資的経費実績である年平均額約 49 億円の 2.2 倍となっており、現在の規模での維持は困難と思われる。

問 小中学校の調整はどのように進めるのか。

答 (教育次長) 小中学校適正配置計画の策定を検討する。



尾島 勝 新生会



今期最後の市長提案説明および全員協議会

問 4月に創設する行財政改革推進課において、市長は何をどう改善すべきと考えているか。

答 (市長) 改善すべき最優先課題は、歳入に合わせた歳出構造の回復であると考えている。具体的には、20年で施設総量を20%縮減する数値目標を掲げるなど民間活力の導入にも取り組んでいく。

問 有機物リサイクル施設建設および(仮称)道の

駅まるこ建設を当面見合わせる決断をしたが、その原因と再発防止策等の検証結果はどうか。

答 (市長) 有機物リサイクル施設については、市民説明会において、さまざまな意見をいただく中で、市民の合意形成が得られないことやごみの排出量と施設規模との再検討をする必要が生じたためである。(仮称)道の駅まるこについては、財源調達や盛土工事に再精査の必要性が生じたためである。今後、市で計画する大型事業の実施にあたり、組織の実行体制とガバナンスの確立による厳格な事業の進捗管理に加え、十分な合意形成を図る。



石合 祐太 新生会



福祉分野の対応力向上へ！

問 令和8年度から上田市で本格実施が予定される^{*}重層的支援体制整備事業は、複数の分野に及ぶ課題を包括的に支援できる事業として期待されるが、見込まれる効果はどうか。

答 (福祉) これまで個別対応していた高齢、障がい、子ども、生活困窮など各分野の取組が連携することで、支援関係機関の間で対応できる範囲が拡大され、重層的な支援が可能と

なるとともに、支援関係機関それぞれの対応力の向上にもつながる。これにより、よりきめ細かな支援が可能となり、複雑化、複合化した課題があっても、一元的な支援を提供することにつながっていく。

問 市民の困り事をキャッチする多様な窓口を設置する考えはどうか。

答 (福祉) 利用者目線でこの事業を行う中で検討したい。また、既存の窓口以外のところでも相談の機会を広げられればいいと考えている。



西沢 逸郎 社志会



諏訪部地域の地域振興策

問 諏訪部地域には、以前から多くの迷惑施設があり、資源循環型施設が稼動すればさらに長期間にわたって受け入れを継続することとなるが、現状を市はどのように捉えているか。

答 (市長) 諏訪部地域周辺の方においては、これまで地域の暮らしを支える重要な施設を長年にわたり受け入れていただいております。今後ともお願いすることとなる。地域の皆様に多大

なる負担と協力をいただいていた事実を真摯に受け止めている。

問 地域住民の皆様との協働によるまちづくりおよび地域振興に向け、鋭意努力することが必要と考えるが、見解はどうか。

答 (市長) 今後も地域の皆様の意見や要望を丁寧に向い、信頼関係を大切にしながら、将来に向けた持続的な発展を目指し、地域のまちづくりに取り組んでいく。

【その他の質問項目】

- ・公民館
- ・令和8年度の産業振興

※重層的支援体制整備事業…地域住民の複合・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備するため、相談支援事業、参加支援事業、地域づくり事業を一体的に実施する事業。



堀内 仁志 上志の風



窓口業務の適正化とDX推進による市民サービスの向上

問 窓口の受付時間を短縮する考えはあるか。

答 (総務) 現在、窓口利用の実態把握や課題整理を進め、オンライン手続の拡充、証明書等のコンビニ交付の利用促進、延長窓口の充実など市民サービスの質を確保する取組について、他の自治体の実施例を参考にしながら検討を進めている。



土屋 勝浩 新生会



合併20年後の上田市の現状と行財政改革

問 市町村合併の目的は行政の効率化と市民サービスの向上であるが、目的は達成されたか。

答 (総務) 旧市町村において重複していた業務を整理したことにより、職員数が削減され、運営コストの縮減につながった。また、事務の共通化により、市内のどの窓口でも同一のサービスを受けられる体制が整備され、市民

問 「書かない、待たない、行かない」窓口の改革に向けた今後の具体的な計画と目標をどのように考えているか。

答 (市民まち) 市民へのマイナンバーカードの周知・啓発を進めるとともに、国のデジタル化に向けた動向を把握し、オンライン申請メニューの充実や手段の拡大などの市民サービスの向上と業務の効率化に努めていく。

【その他の質問項目】

・市の看護師不足の現状と対策

の利便性が向上したと認識している。

問 4月に新設される行財政改革推進課では、庁内のさまざまな意見をまとめていくだけの権限は与えられているのか。また、具体的な数値目標を持って行財政改革に臨むのか。

答 (総務) 市長直轄の組織として、全庁的な調整と判断に係る権限が与えられている。また、行財政改革に関する施策ごとに5年間の数値目標を設定し、進捗状況の管理と評価を確実に実施していく。



武田 紗知 上志の風



東信地域初フットボールセンターの誕生

問 古戦場公園多目的グラウンドの人工芝化の財源として、都道府県フットボールセンター整備助成事業を選定した理由は何か。

答 (文化スポーツ) 整備に対する助成額が高く、完成後15年前後で訪れる経年劣化による芝の更新も助成が得られる。活用面でも高い稼働率と安定した運営が期待でき、技術講習会

や指導者育成など、専門的な活動を受け入れられる環境が整うことで、単なる地区のサッカー施設ではなく、県レベルの拠点施設として、より大きな効果を地域にもたらすと判断し、選択した。

問 市民の利用が制限されることはないか。

答 (文化スポーツ) 県サッカー協会には地域住民の施設利用について、最大限尊重する旨の意向を確認している。

【その他質問事項】

・伝えよう、このまちのチカラ。上田の未来



村越 深典 社志会



渋滞解消

問 上田丸子線などの渋滞解消に向けて、どのように取り組んでいくか。

答 (都市建設) 迂回路となる道路のバイパス化や右折レーン設置など交差点改良を含むハード対策などの取組を進めている。信号制御においても、各交差点の交通状況を踏まえた上で、混雑時と通常時での点灯時間を調整するなどの対応を行っている。また、地元からの

要望等があった場合には、その都度協議し、地域に寄り添った対応に努めていく。

問 バイパス建設には市が積極的に関わっていくことが重要であると考えますが、見解はどうか。

答 (市長) 市民の皆様寄り添った対応に努めるとともに、事業の円滑な推進を力強くサポートすることが市の役割であると考えている。引き続き積極的に働きかけていく。

【その他質問事項】

- ・ファミリーサポートセンター事業
- ・脱炭素先行地域づくり



佐藤 論征 新生会



真田地域における事業

問 菅平高原は、以前にも増してにぎわいを見ている。昨年の夏季シーズンは、菅平高原中心部ではしばしば渋滞が発生しており、局地的にオーバーツーリズムの現象が見られる。道路整備も急務の上、応急的な対応についてはさらに急務である。渋滞緩和に関する今後の道路整備の考えと当面の対応はどうか。

答 (真田センター) 渋滞の緩和につながる市道

原野地2号線と市道大松1号線の早期完成を目指すとともに、まずは迂回ルートの事前周知、現地での案内看板の設置による交通分散の誘導、来訪チームや保護者への協力依頼文配布などの対策を実証的に実施することにより、その周知効果や車両動線の変化を検証しながら、改善につなげていきたい。

【その他質問事項】

- ・国道144号・上信自動車道

お知らせ



Android版



ios版

市議会だよりは、スマートフォンやタブレット向けのアプリ「マチイロ」からもご覧いただけます。

声の市議会だより・点字の市議会だよりを発行しています

うえだ市議会だよりの内容をCD・テープへ録音した音訳版と点字に翻訳した点訳版を発行しています。ご希望される方は上田ボランティア地域活動センター(電話 0268-25-2629)へお問い合わせください。



高田 忍 社志会



《仮称》上田丸子トンネル

問 市として国・県に対してどのような要望を行っているか。また、それに対する成果や今後の方針はどうか。

答 (都市建設) (仮称) 上田丸子トンネル整備について県に支援や検討を求めた。こうした協議の結果、上田地域広域連合広域計画の上田地域広域幹線道路網構想・計画における中長期計画の中で、(仮称) 上田丸子トンネルと

して明確に位置づけられたことは、これまでの取組の成果である。

事業化を目指すためには、地域における計画等への位置づけが必要で、(仮称) 上田丸子トンネルが第一段階として、上田地域広域幹線道路網構想・計画に位置付けられたことは、今後の具体的な検討につながる。市として、その実現に向け、県とも積極的に情報共有や意見交換を行い、調査研究を進める。

【その他質問事項】

- ・市内におけるいじめ防止対策と早期対応の強化



古市 順子 日本共産党上田市議団



合併の検証と今後の取組

問 合併は新設対等合併であり、各地域自治センターの機能は7割残すことが約束されたが、現状はどうか。また、住民の窓口としての機能はしっかりと守るべきで、今後の地域振興を推進していくためにも、現在の体制は堅持すべきと考えるが、見解はどうか。

答 (総務) 合併協定書に基づく地域自治センター構想において、旧町村の当面の業務量は7割

と試算し、必要な職員は現状でも配置されている。しかし、社会環境の変化に対応し、次世代に持続可能な行政システムを引き継ぐための体制構築も検討する必要がある。今後の地域自治センターの在り方については、合併協定書の理念は十分に尊重しながら、各地域における個性あるまちづくりと必要な市民サービスの維持に引き続き努めながら、社会環境の変化に見合った機能・体制への転換についても併せて検討を進めていきたい。

【その他質問事項】

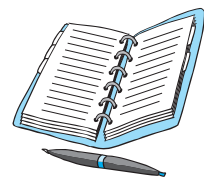
- ・水道事業広域化

傍聴者の声

本会議を傍聴されたみなさんの声

～こんなご感想をいただきました～

3月定例会本会議の傍聴者数は延べ89人でした。
傍聴された皆さんから寄せられた、ご感想やご意見の一部を紹介します。



- さまざまな施策を実現するため、今後も有意義な議論を望みます。
- 市民、行政、議会が一体となってより良い上田市になるように祈っています。
- 真剣に市政について話し合っていることが分かりました。



飯島 伴典 上志の風



障がい者等の優先駐車区画

問 駐車場優先区画の利用対象者や利用証交付件数の状況、優先区画の設置数はどうか。

答 (福祉) 対象者は妊産婦やけが・病気の方など幅広く、人数の実態把握は困難であるが、交付申請数は増加傾向にある。市では、94の市有施設で241区画を整備している。

問 対象者以外の不適切利用の実態や市販標識の使用における対応はどうか。

答 (福祉) 不適切利用と思われる事例はあるが、判断が難しい場合が多い。適正利用を推進し、誤用・乱用を防ぐため、市販標識ではなく、県の信州パーキング・パーミット制度の利用促進や周知に努める。

問 今後の改善策について考えはあるか。

答 (福祉) 掲示や呼びかけを強化し、県や関係団体、商工関係者と連携しながら、必要な方が安心して利用できる環境づくりに努める。

【その他の質問項目】

- ・令和8年度当初予算
- ・上小医療圏の救急医療体制



金沢 広美 公明党



財務書類活用による上下水道事業の将来の安定

問 一般会計において確立されている財務書類活用に基づく資金運用の考え方や判断基準を将来的に上下水道事業会計へと展開していく考えはあるか。

答 (上下水道) 一般会計で培われたノウハウや内部統制の考え方は、公営企業会計である上下水道事業にも参考になる。今後、その知見

を積極的に取り入れるとともに、公営企業会計としての健全性と安全性を確認し、より適切で効果的な資金運用となるよう進めていく。国東市は基金の一括管理運用をしている。統一的基準による財務書類を中長期的な経営判断に結びつけた制度的な資金管理を行っている。本市が導入する場合、安全性を最優先とし、制度設計や内部統制の整備を含め議論を行い、慎重に検討を進める必要がある。資金運用においては、将来の更新投資や債務償還に支障がないよう健全性を確保しながら、より適切な資金管理の在り方を探っていく。

一般質問や常任委員会の開催日などが決まりましたら、市議会ホームページやSNSでお知らせしますので、ぜひご確認ください。

上田市議会
ホームページは
こちら



上田市議会
Facebookは
こちら



上田市議会
x (旧 Twitter)は
こちら



皆さんからの請願・陳情 3 件を審査

請願

※請願第 2 号は令和 7 年 9 月定例会に提出された請願の継続審査です。
 ※請願第 4 号は令和 7 年 12 月定例会に提出された請願の継続審査です。

請願番号	件名	提出者	審査結果
請願第 2 号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の請願	上田市教職員組合 執行委員長 宮澤 裕子氏 (紹介議員：古市 順子議員)	継続審査
請願第 4 号	高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める請願	上小・東御地区社会保障推進協議会長 中村 和幸氏 (紹介議員：泉 弥生議員)	継続審査

本会議審議結果 (継続審査に付することについての採決) ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議：議長 (議長は表決に加わりません)

請願番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	欠員	泉 弥生	村越 深典	中村 知義	武田 紗知	飯島 裕貴	古市 順子	松尾 卓	金沢 広美	松山賢太郎	高田 忍	西沢 逸郎	矢島 昭徳	堀内 仁志	石合 祐太	欠員	齊藤加代美	井澤 毅	久保田由夫	池上喜美子	半田 大介	欠員	宮下 省二	金井 清一	飯島 伴典	池田総一郎	佐藤 論征	土屋 勝浩	尾島 勝	欠員
第 2 号		×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×		○	○	×	○	○		○	欠	○	議	○	○	○	
第 4 号		×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×		○	○	×	○	○		○	欠	○	議	○	○	○	

※議員氏名の上の数字は議席番号です。

陳情

※陳情第 9 号は令和 7 年 12 月定例会に提出された陳情の継続審査です。

陳情番号	件名	提出者	審査結果 (付託委員会)
陳情第 9 号	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬 10%以上の引き上げを求める陳情	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子氏	継続審査 (教育厚生委員会)

市議会では、皆さんの要望などを
請願や陳情として受け付けています。

6 月定例会で
審議・審査する
請願・陳情の
提出期限

6 月 9 日(火) 午後 3 時

請願・陳情の出し方



総務委員会、教育厚生委員会から 執行部に対し提言書を提出しました。

提言書とは主に市政に関する重要な施策や課題に対して、執行部へ提出するものです。

令和7年度は総務委員会と教育厚生委員会において、以下の内容について提言書を提出しました。

総務委員会 持続可能な行財政運営に向けた公民連携の推進および人材育成

公民連携推進体制の強化

人材の確保・定着に向けた「人材成長戦略」の策定 など

教育厚生委員会 (仮称)上田市子ども権利条例の制定

制定に当たり、部局横断的に取り組むとともに、子どもたちおよび有識者の声を取り入れること

議会トピックス

＼知ってるようで知らない!? 市議会のしくみ /

議会の一般的な流れについて

年4回（3月、6月、9月、12月）開会される定例会の一般的な流れについて紹介します。

本会議（初日）	
○ 開 会	議長の宣告により開会します。
○ 会議録署名議員の指名、 諸般の報告、会期の決定	
○ 議案提出、提案理由の説明	市長や担当部長が提出した議案の提案理由を説明します。



本会議（2日目）	
○ 一般質問	議員が市政全般の課題などについて、市長や担当部長に質問します。
本会議（3日目）	
○ 一般質問	同上
本会議（4日目）	
○ 一般質問	同上
○ 議案質疑	議員が提出者に対し、議案の内容や提案の理由などについて質問します。
○ 委員会付託	議案の審査を担当の常任委員会などに議長が付託します。



常任委員会（総務委員会、産業水道委員会、教育厚生委員会、環境建設委員会）	
○ 議案審査、請願・陳情審査	付託された議案および請願・陳情について説明を聞き、質疑、討論、採決をし、委員会の意思を決定します。



本会議（最終日）	
○ 委員長報告	委員長が委員会の審査や調査の結果を報告します。
○ 委員長報告に対する質疑	報告のあった審査内容・結果について議員が質問します。
○ 討 論	議案などに対し、議員が賛成・反対の意見を述べます。
○ 採 決	多数決により議案に対する議会の意思を決定します。
○ 閉 会	議長の宣告により閉会します。

本会議をぜひご覧ください

どこでも

インターネット中継

(生中継・録画配信)

- ・パソコン、スマートフォン、タブレット端末などで視聴できます。
- ・録画配信は、会議名、議員名、会派名で検索できます。また、用語検索もできます。



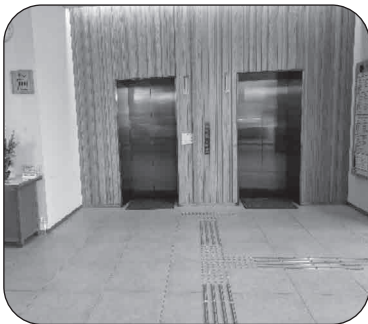
録画配信は会議の翌日から起算しておおむね10日後（土日、祝日を除く）からご覧いただけます。ただし、編集の都合上、配信が遅れる場合がございます。

上田市議会インターネット中継専用サイトはこちら



議場で

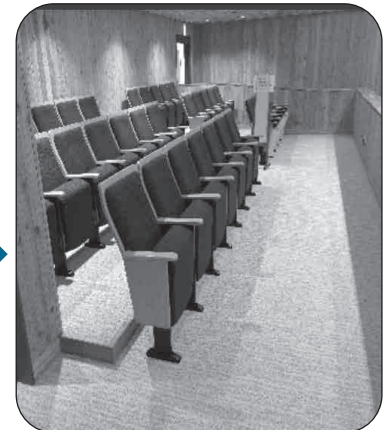
傍聴



本庁舎正面入口のエレベーターで5階議会事務局へ



受付を済ませたら議場へ向かう



本会議を傍聴する

Q 傍聴ができる方は？

A どなたでも議会の傍聴ができます。お子さんも一緒に傍聴ができます。車いすスペースもあります。

Q 事前の手続きは？

A 市役所本庁舎5階の議会事務局で受付をしてください。

Q 予約は必要？

A 必要ありません。(大人数で傍聴にお越しの際は事前にご相談ください。)

Q 満席時やお子さんが泣いてしまった時は？

A 議場には入れませんが、議場外に設置のモニターで視聴できます。

Q 音が聞こえにくい場合は？

A 議会事務局にてヒアリンググループ受信機（耳に装着、音量の調整可能）を貸し出しております。

6月定例会は**6月8日**開会予定です。

日程が決まりましたら、6月上旬に市議会ホームページに掲載します。



令和8年度上田市議会 開会予定

令和8年度の市議会開会予定日が決まりましたのでお知らせします。

- ◆ 令和8年6月定例会 ⇒ 令和8年6月8日(月)
- ◆ 令和8年9月定例会 ⇒ 令和8年8月31日(月)
- ◆ 令和8年12月定例会 ⇒ 令和8年11月20日(金)
- ◆ 令和9年3月定例会 ⇒ 令和9年2月19日(金)

※会期はおおむね1カ月間

日程詳細は、開会予定日のおおむね1週間前(議会運営委員会において決定後)にホームページにて公表します。➔



公職選挙法の禁止事項について

～市議会議員が年賀状等のあいさつ状やあいさつを目的とする
有料広告を出すことは禁止されています～

年賀状等のあいさつ状の禁止

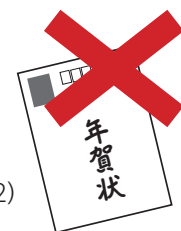
公職選挙法では、市議会議員が選挙区内の方に対して、年賀状や暑中見舞い状などの時候のあいさつ状を出すことが禁止されています(答礼のための自筆によるものを除く)。(公職選挙法第147条の2)

あいさつを目的とする有料広告の禁止

公職選挙法では、市議会議員が選挙区内の方に対して、主としてあいさつを目的とする有料の広告(いわゆる名刺広告など)を新聞や雑誌、テレビ等に出すことが禁止されています。(公職選挙法第152条)

これらは、お金のかからないクリーンな選挙を実現するためのルールです。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。

出典：公益財団法人 明るい選挙推進協会「寄附禁止 正しく守って明るい選挙」、長野県選挙管理委員会ホームページ 等



議会だよりについてご意見をお聞かせください。

市民の皆様に分かりやすく、読んでいただける議会だよりを目指して読者アンケートを実施しています。よりよい紙面を作っていくためにご協力をお願いします。

アンケートの回答はこちらから



編集
後記

本号は、新たな議会構成の下で発行される議会だよりですが、編集は前年度の広報広聴委員会によるものです。

我々はこれまで積み重ねてきた思いを引き継ぎながら、議会への関心を高める紙面づくりに努めてまいりました。また、読みやすく、親しみやすい、「毎号楽しみにしている」と言っていただけの議会だよりを目指してまいりました。

新たな委員会においても、より良い紙面が受け継がれていくことを期待しております。

市民の皆様には、議会傍聴やご意見の提出など身近な形で議会へのご参加をお願いいたします。委員一同これからも市民の皆様により添った広報に努めてまいります。

広報広聴委員

金沢 広美
村越 深典
齊藤加代美

紙面の二次元コードはアクセス解析のために Cookie を使用しています。アクセス解析は匿名で収集されており、個人を特定するものではありません。Cookie を無効にすることで、Cookie を用いた収集を拒否することができますので、お使いのデバイスのブラウザの設定をご確認ください。